

Vision 1

未来への扉を開く授業
社会に革新を与える研究など、
皆が何かに没頭し
“ワクワク”している大学

Slogan
魅力溢れる

おもしろい



みんなで
つくりあげましょー！

Vision 2

超スマート社会「Society 5.0」
に対応した人材を育成し、
新しい融合領域の
驚くべき研究を
発信していく大学

Vision 3

「地(知)を楽しみ、
知(地)を活かす」拠点として、
地域から愛され、
頼られる大学



富山大学長 齋藤 滋

Action Plan ビジョンを具体化する戦略

教育

- 数理・データサイエンス教育の必修化：令和2年度より全学必修科目を実施、大学院を含む6年間の体系を構築
- 学生のやる気・ワクワク感を後押しする教育・学生支援の推進：充実した教養教育、確かな専門教育、学生ニーズに応える情報提供
- 地域連携授業の推進：地域と関連したテーマ、事業関係者による授業を通じて地域への理解を深めると共に、社会性や実践力を育成
- 大学院の再編：人社芸術系及び医薬理工系修士課程の改組。医学系修士と生命融合博士課程との連携強化
- 教員養成機能の見直し：強化ポイントの明確化、大学間での連携を検討
- 外国人留学生に対応した教育・環境の充実：留学生宿舎の整備
- 高大接続：高校から大学、そして社会へのキャリアをサポート。一貫した学力の育成

研究

- 世界トップレベルの研究拠点を形成：“強み”となる分野での研究センター設置。(アイドリング脳科学研究センター(仮称)など)
- 富山ならではの研究推進：『くすりのシリコンバレー TOYAMA』創造コンソーシアム、「とやまアルミコンソーシアム」など行政・産業界と協働して推進。和漢医薬学総合研究所の改革と発展
- レジリエント(対応力のある)都市づくり：富山をモデルに人生100年時代の医療包括ケアや、誰もが自由に出かけられるスマートシティを構築、それらを通じてSDGsの達成に貢献
- 新分野の開拓：部局を越えた連携を促進、STEAM(科学、技術、工学、数学に芸術を融合)によりイノベーションを創出

社会貢献

- 地方創生の推進：自治体・産業界等と連携・協働し、地域活性化事業に積極的に参画すると共に、学生の地元就職率向上に向けた取り組みを実施(COC+事業など)
- 地域の交流拠点：身近なアカデミアとして、人々に多様な魅力的な交流機会を提供、住民の誇りにてできるキャンパスづくりを展開
- リカレント教育の充実：現役世代に向けた実践的な講座を充実させると共に、ライブイベントに配慮した女性支援講座等を実施
- 高度先進医療の提供：地域医療の砦として、質の高い医療を提供。あわせて、発病前に介入する未病ケアのシステムを構築

大学運営

- ガバナンスの強化：ITを利用した情報収集、十分なコミュニケーションを通じて問題意識を共有し、学長がリーダーシップを発揮できる体制を構築
- IRの活用：入学前から卒業後まで、一連の学びの実態を把握するエンrollment・マネジメントを構築
- 財政の見直し：運営経費を徹底的に見直す経営改善タスクフォースを設置、経費を「見える化」と共に無駄な支出を可能な限り削減
- 外部資金の獲得：科学研究費等の申請方法や寄附金の納金方法などを具体的に示すことで収入金額を増加させる
- 教員業績評価の見直し：新年俸制導入に対応した評価制度を構築。モチベーションを高めるインセンティブを検討
- 新たな運営体制の導入：教教分離による組織体制を導入。採用人事を全学的見地で行い、若手・女性教員比率を向上させる

